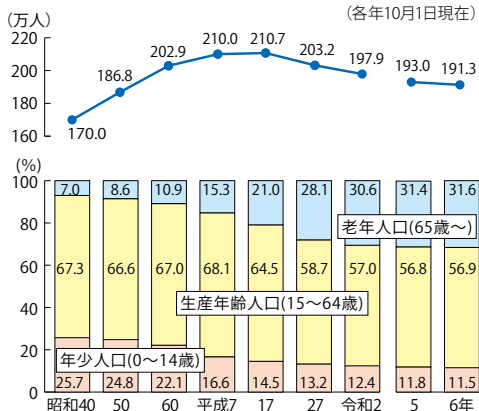


C 人口

C 1 人口・年齢3区分別人口割合の推移



注) 年齢3区分別人口割合は、年齢「不詳」を除いた人口を用いて算出
資料：国勢調査、岐阜県人口動態統計調査

●人口

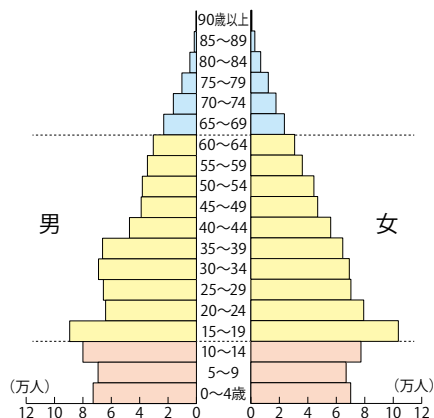
- 令和6年10月1日現在の人口は1,913,076人。前年の1,929,669人から16,593人(0.9%)減少した。
- 少子高齢化による自然減少と県外への転出超過により、平成16年をピークに人口の減少が続いている。[C 1, C 6]

●年齢3区分別人口割合

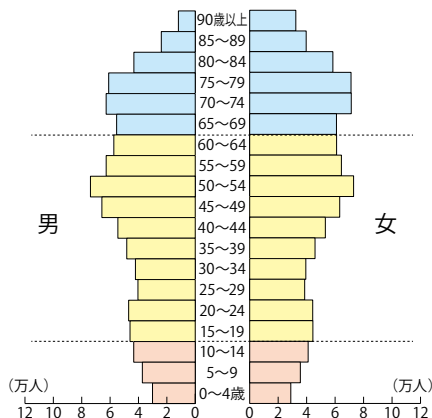
- 年齢3区分別に人口に占める割合をみると、令和6年には年少人口は11.5%、生産年齢人口は56.9%、老年人口は31.6%となった。昭和40年と比較すると、年少人口は14.2ポイント低下し、老年人口は24.6ポイント上昇した。[C 1, C 2]

C 2 人口ピラミッド (男女・年齢5歳階級別の分布)

昭和40年(1965年) 1,700,365人



令和6年(2024年) 1,913,076人



資料：国勢調査、岐阜県人口動態統計調査

C 3 人口・世帯数

(各年10月1日現在)

区 分	人 口	世 帯 数		世帯規模(注)
		男	女	
	人	人	人	世帯
昭和40年 (1965)	1,700,365	821,444	878,921	390,610
50 (1975)	1,867,978	907,382	960,596	483,766
60 (1985)	2,028,536	986,919	1,041,617	567,946
平成 7 (1995)	2,100,315	1,019,549	1,080,766	645,341
17 (2005)	2,107,226	1,020,570	1,086,656	713,452
27 (2015)	2,031,903	983,850	1,048,053	753,212
令和 2 (2020)	1,978,742	960,436	1,018,306	780,730
5 (2023)	1,929,669	936,796	992,873	792,325
6 (2024)	1,913,076	928,697	984,379	797,299

注) 人口を世帯数で除した数

資料：国勢調査(昭和40年～令和2年)、岐阜県人口動態統計調査(令和5,6年)

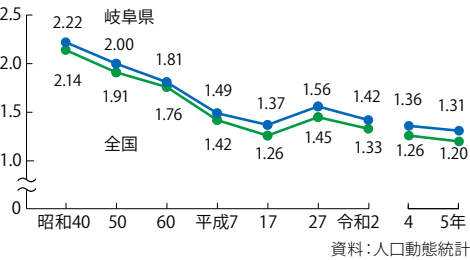
●出生

- 出生数は、昭和48年をピークに減少傾向にあり、令和6年には10,490人となった。〔C 6〕
- 令和5年の合計特殊出生率は1.31で、全国の1.20を上回っている。〔C 4〕

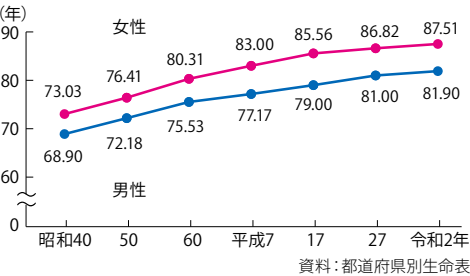
●死亡

- 死亡数は、増加傾向にあり、令和6年は26,433人となった。〔C 6〕
- 平均寿命は、男性81.90年、女性87.51年と伸び続けている。〔C 5〕

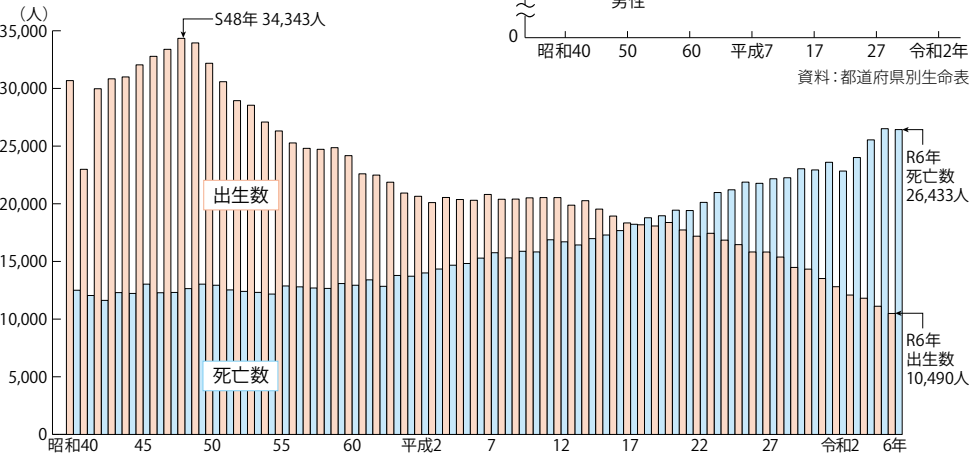
C 4 合計特殊出生率の推移



C 5 平均寿命の推移



C 6 出生数と死亡数の推移



●在留外国人数

- 県人口が全国17位の規模であるのに対し、県内の在留外国人数は全国13位と比較的高い水準にある。
- 国別では、フィリピン、ベトナム、ブラジルの上位3か国で全体の約6割 (59.8%) を占める。〔C 7〕

C 7 在留外国人数

(令和6年6月末現在)

国名	総数	フィリピン	ベトナム	ブラジル	中国	インドネシア	韓国	ネパール	その他
人数(人)	71,617	15,908	14,598	12,302	9,300	3,712	3,154	2,437	10,206
構成比(%)	100.0	22.2	20.4	17.2	13.0	5.2	4.4	3.4	14.3

参考) 在留外国人総数の多い県内自治体
岐阜市 11,642人、可児市 9,370人、大垣市 6,499人、美濃加茂市 6,272人

資料：在留外国人統計